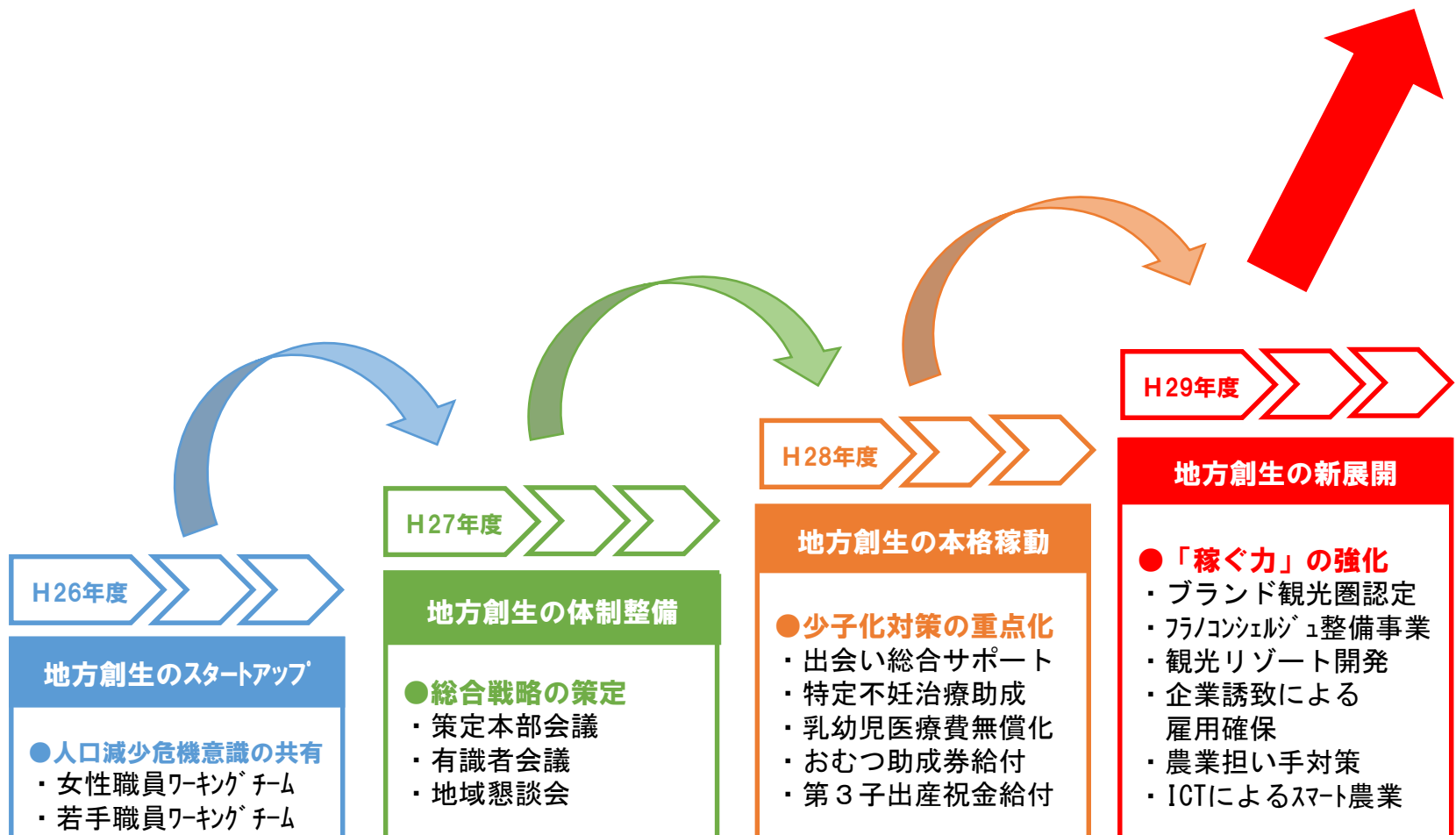


平成29年度 新たな取り組みについて

平成29年9月20日

第7回富良野市総合戦略有識者会議

地方創生の新展開に向けて



出産祝品贈呈事業

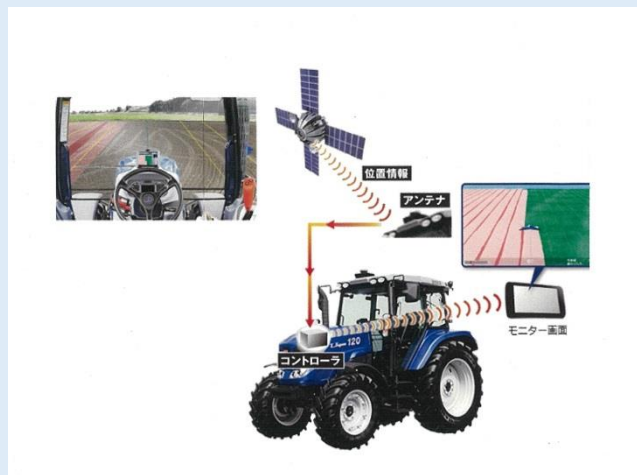
出産祝品贈呈事業は、次代を担う子どもの成長を市民が応援することを目的に、生まれたお子さんの写真2枚を木製のフォトスタンドに入れて贈呈する取り組みを平成29年度からはじめました。



労働力不足改善に向けたスマート農業の促進

市では、農業経営者の高齢化や農業従事者の減少による労働力不足の改善に向けて、農作業、管理作業へのICT技術導入を図り、省力的・効率的農業への転換をめざす農業者への支援を本年度から行なっています。

- 対象者～認定農業者および認定就農者
- 助成内容～①GPSガイダンスシステムおよび自動操舵システム導入に係る経費（実績件数6件）
②栽培用ハウスの自動喚起設備導入に係る経費（実績件数6件）



GPSガイダンスシステム



ハウス自動喚起設備

子育てママ×子育て応援農家

子どもを預けている間の少しの時間でも働きたい
子育てママの「働きたい」を応援します

子育て × 農業

子育てママ × 子育て応援農家を つなぎます

例えば、子どもを預けている
平日の9時~12時勤務 etc

▼農業でもこんな多様な働き方ができます

短時間
勤務

土日
休み

急な
キャンセル

時給
850円~



▼子育てママ×子育て応援農家をつなげる仕組み

まずは
登録

登録

※インターンシップや
登録農家などの情報をお知らせします

インターンシップ
(就労体験)

農家で
働く

もしくは直接連絡

市では、子どもを預けている時間に少しでも働きたい子育てママと子育てママに働いてほしい農家さんをつなげる取り組みを行っています。



子育てママ登録者:17名(うち就労者12名)
子育て応援登録農家:メロン4件、ミニトマト5件

フラノ・コンシェルジュ整備事業



フラノ・コンシェルジュ整備事業とは、商店街に面した空店舗ビルを活用し、内外観光客や来街市民を対象に「観光」「食」「おもてなし」をコンセプトとした複合施設へと再生する事業です。

4階	多目的スペース(イベント・催事場など)
3階	簡易宿泊施設(外国人観光客やバックパッカーなどをターゲット)
2階	シェアオフィス(商工会議所・観光協会・市商工観光課など)、簡易宿泊施設ラウンジなど
1階	観光案内カウンター、レストラン、店舗など
地階	倉庫

まちなか居住促進事業

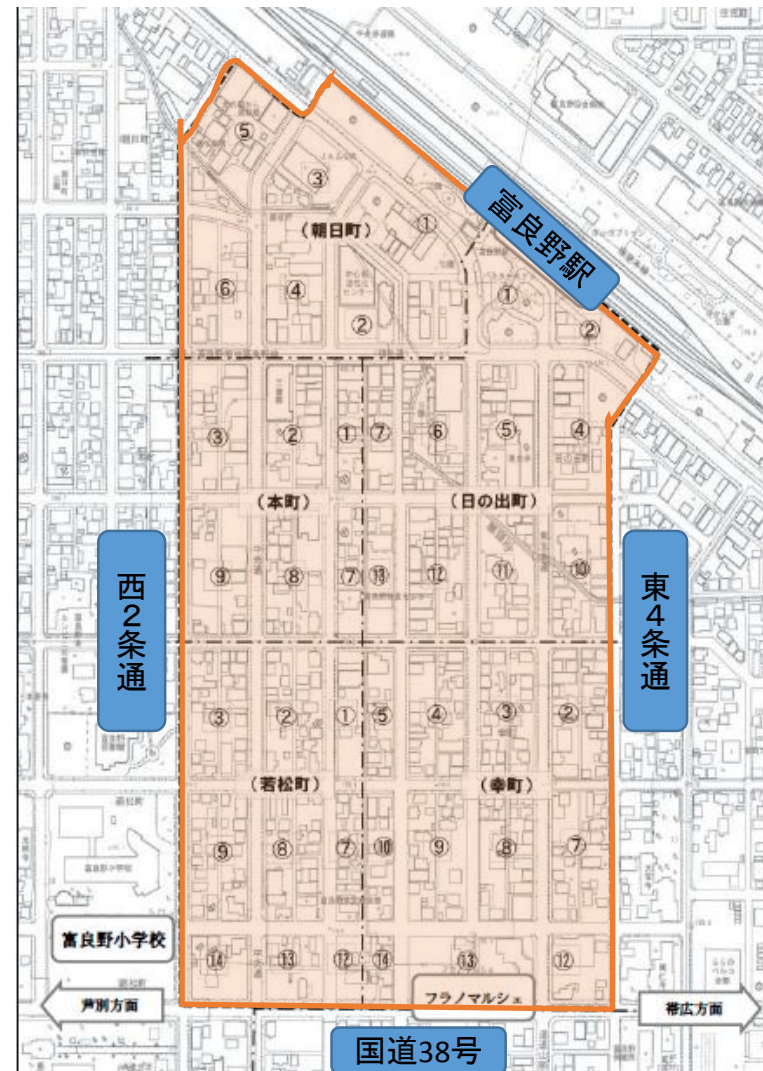
1. 事業の目的

市では、中心市街地の居住人口の増加を図るために、まちなかにある民間賃貸住宅への入居を希望する市民に対し、引越し費用の一部を助成する「まちなか居住促進事業」をつくりました。

2. 助成金額

助成金額は、次に掲げる事項の合計額とし、上限を15万円とします。

- (1) 敷金
- (2) 月額賃料1か月分
- (3) 仲介手数料(税込)



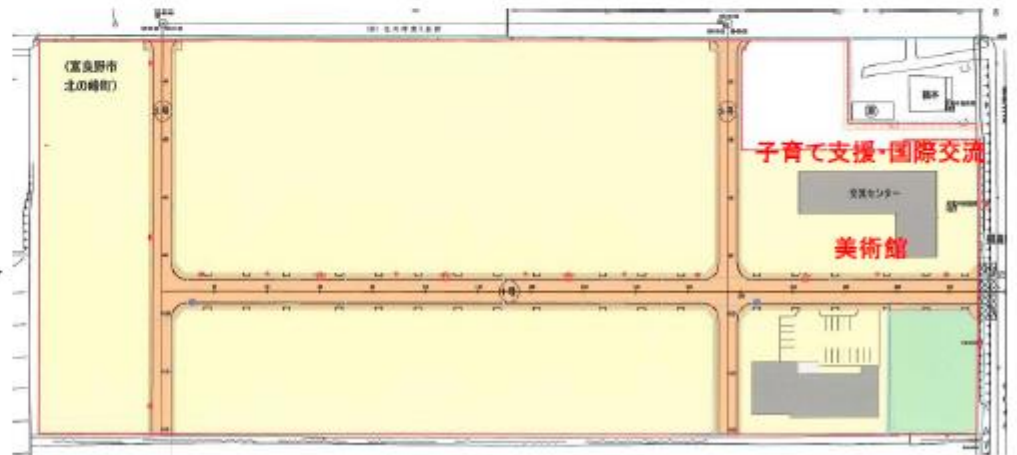
外国資本による宅地造成

富良野市下御料観光リゾート事業

事業目的

- 北海道富良野市下御料でのアジア系観光客向けの農業宿泊体験施設計画。近年「観るだけの観光」から「体験できる観光」へと観光客のニーズが変わってきたことに対応し、アジアでも有数の農業地域である北海道にて宿泊しながら農業体験ができる施設としてまた、農業を通じた地域住民との交流が図れる場所とする。
- 交流施設や美術館を設置することにより、富良野市内の国際交流拠点としての位置を確立する。
- 地域と連携し、食育・木育の子育て支援の一般社団法人等団体を設立する。

事業イメージ



※敷地内の管理（樹木・ゴミ処理等）については、専門スタッフを配置して管理致します。

外国資本による宅地造成

2017年(平成29年)6月30日(金曜日)

北海道新聞

経済効果、雇用増に期待



中国企業家がアジアの地産向け滞在施設を建設する下野村の予定地

【富良野】札幌在住の中田工業家が中下野村とアシアの地産向け滞在施設を建設する計画が28日夜の住民説明会で示され、市内の観光客からは「観光客雇用が増えるのでは」と期待の声が上がった。地元住民からは「建設で景観が損なわれないか」を不安の声が相次いだ。

説明会には北の緯「アシア」を担う中田工業などの企業、建設業者、地元自治体、市内在住者が市内の飲食店で食事をしながら新たな消費が生まれ、観光客も増える。施設は一定以上の規模になると、雇用が増える。中田工業は「滞在施設を建設する計画が示された住民説明会」で、市内の観光客からは「観光客雇用が増えるのでは」と期待の声が上がった。地元住民からは「建設で景観が損なわれないか」を不安の声が相次いだ。

説明会には北の緯「アシア」を担う中田工業などの企業、建設業者、地元自治体、市内在住者が市内の飲食店で食事をしながら新たな消費が生まれ、観光客も増える。施設は一定以上の規模になると、雇用が増える。中田工業は「滞在施設を建設する計画が示された住民説明会」で、市内の観光客からは「観光客雇用が増えるのでは」と期待の声が上がった。地元住民からは「建設で景観が損なわれないか」を不安の声が相次いだ。

「景観損なわれないか」不安の声も

「企業建設と同じ価値がある」と期待を寄せる。一方、説明会では地産住民から不安の声も上がった。事業主側は「建物の内容は建設している段階で、具体的な計画は決まっていない」と語り、景観もまた建設物の規模や戸数などの説明はなかった。住民からは「土産を売るのか」「土産の用途をどうするか」「土産の用途をどうするか」といった不安の声も上がった。中田工業は「滞在施設を建設する計画が示された住民説明会」で、市内の観光客からは「観光客雇用が増えるのでは」と期待の声が上がった。地元住民からは「建設で景観が損なわれないか」を不安の声が相次いだ。

2017年(平成29年)6月29日(木曜日)

北海道新聞

アジア富裕層向け 富良野に滞在施設

中国人実業家 来月にも着工

【富良野】富良野スキー場に近い富良野市下野村で、札幌在住の中国人実業家が、農業体験などもできるアジアの富裕層向けの滞在施設を建設する計画を進めていることが28日、分かった。詳細は今後明らかになるが、事業主体は、貿易・飲食業の「富威」(札幌)を経営する巴特爾氏、北海道中華華人連合会会長が社長を務める「泰盛」(同)の両氏がほか、中国で不動産業を営む実業家が共同出資した。同社の高田専務が同日夜、富良野市内で開いた住民説明会で明らかにした。

計画予定地は、スキー場や富良野アリスホテルの東側の約4万5千平方メートルの滞在施設を建設する計画を進めていることが28日、分かった。詳細は今後明らかになるが、事業主体は、貿易・飲食業の「富威」(札幌)を経営する巴特爾氏、北海道中華華人連合会会長が社長を務める「泰盛」(同)の両氏がほか、中国で不動産業を営む実業家が共同出資した。同社の高田専務が同日夜、富良野市内で開いた住民説明会で明らかにした。

する見込みで、具体的な設計ができ次第、再び説明会を開くとしている。

高田専務は「身近で年野の美しい四季に応じた体験観光を目標したい」と、農業体験を通して富良野の話した。

